



結いゆい通信



春号



社会福祉法人 碧晴会

川口結いの家

理事長 堀尾 静 施設長 神谷 八千代
〒447-0823

愛知県碧南市川口町1丁目178番地1

TEL:(0566)46-5210 FAX:(0566)46-5260

<http://yuinoie.or.jp>

平成27年4月15日発行 NO.40号

H27年度

新人研修



今年も新入職員を迎える季節になりました。

今年の新人研修は、昨年度4月以降に入職した9名と、平成27年4月に入職したばかりのフレッシュな新社会人5名を対象に2日間で開催しました。

神谷施設長からは、「理念である”思いやる心とこころ 暮らしを紡ぎ地域と結ぶ 一人ひとりが支え合う”とは、具体的に私たちは何をしていくのか」の説明がありました。理念に基づいて、これから仕事をしていくことの大切さを伝えられました。施設長のユーモアと熱意ある講義は受講者の心に響いたことと思います。

新人研修では、ご利用者様・ご入居者様の暮らしを支えるために必要な知識や技術を身につけ、実践できることを目的とした講義や実技講習が行われました。

マナーや接遇の講義や感染予防の手洗い講習、救急蘇生法、AEDの使用方法など、緊急時の対応法も学びました。自分たちが実際にオムツを着用してみたり、とろみを付けたお茶を飲むなどの体験も行いました。高齢者の方の立場に立って考えること、これから介護職員としてどんな気づきや配慮をするべきなのかを体験から学びました。

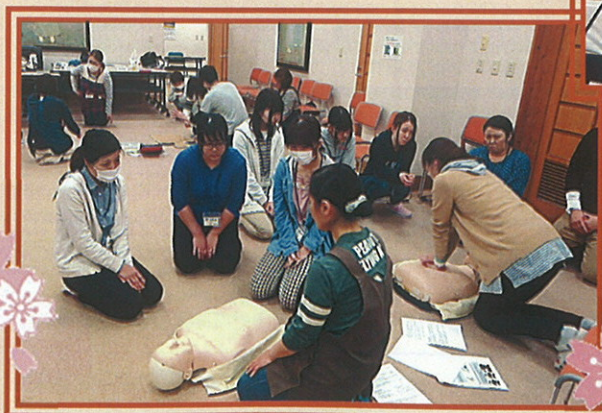
グループワークでは『介護の仕事に必要な力って何?』をテーマに新入職員が意見交換をしました。まだ現場で働いていない職員からは、「体力」「笑顔」「優しさ」などの意見がありました。すでに現場で働いている職員からは、「状況判断」や「冷静さ」「観察力」「気配り」などの意見がありました。

これから働く中で、どんな力を身につけ、成長していくべきなのかを考える機会になったと思います。

介護は、楽しくてやりがいのある仕事ですが、やはり働く中では、辛いことや大変なこともあると思います。ひとつひとつ経験の中から学び、乗り越え成長してほしいと思います。

新入職員のみなさんがご入居者様に信頼され、自信を持って仕事ができるようになるように施設全体で見守り、サポートしていきたいと思ひます。

主任プリセプター：浅田 寛子



「2015（平成27）年介護保険法改正」



2015（平成27）年4月から、新しい介護保険制度がはじまります。

今回の改正の大きな目的は「地域包括ケアシステムの構築」「利用者負担の公平化」と言われています。重度の要介護者、医療を必要とする要介護者等を、在宅で支える仕組みとしての「地域包括ケアシステム」。とくに、在宅で暮らす中重度者への対応の仕組みをどのように作るかが課題となります。そして、要支援等の軽度者については、現行では予防給付である訪問介護や通所介護を対象から外し、新たに創設する介護予防・日常生活総合支援事業へと移行する方針が打ち出されています。また、低所得者の保険料軽減を拡充する一方で、8月からは一定所得のある利用者の自己負担引き上げ（1割→2割負担へ）が実施されます。

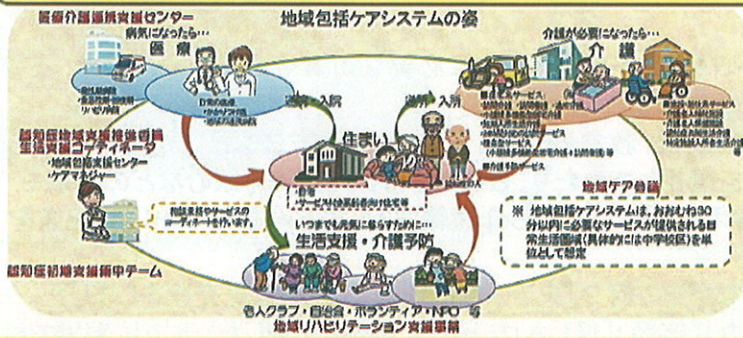
「ベビーブーム世代」がこの2015年に高齢期に到達し、2025年にはさらに後期高齢期を迎え、我が国の高齢化はピークを迎えます。また、認知症や一人暮らしの高齢者の方も増加すると見込まれており、新たな課題へ向けて、介護保険制度は3年ごとに見直されています。

※個人の見解も含まれているため、内容についてはご確認ください。

居宅介護支援事業所 飯嶋進哉

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が概ね75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進捗状況には大きな地域差が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



【介護保険法（介護保険制度）】

- 1996（平成8）年11月国会提出、1997（平成9）年12月成立、12月17日公布、2000（平成12）年4月施行。
- 介護保険制度は3年が1サイクルとなっており、市町村は3年を1期として介護保険事業計画を策定し、3年ごとに見直しを行います。事業計画に定めるサービス費用見込額等に基づき、3年を通じて財政の均衡を保つよう保険料は設定されます。

		認定者数	給付	保険料	介護保険制度の流れ
2000年度	第一期	218万人	3.6兆円	2,911円 (全国平均)	平成12年4月 介護保険法施行 ○1963（昭和38）年7月に老人福祉法制定・公布 ○1970（昭和45）年「社会福祉施設緊急整備5か年計画」 ○1982（昭和57）年に老人保健法が制定 ○1990（平成2）年6月老人福祉法等の福祉関係8法の改正
2001年度		258万人	4.6兆円		
2002年度		303万人	5.2兆円		
2003年度	第二期	349万人	5.7兆円	3,293円 (全国平均)	平成17年改正（平成18年4月施行） ○介護予防の重視（要支援） ○施設給付の見直し（食費、居住費） ○地域密着型サービス創設 ○地域包括支援センター創設
2004年度		387万人	6.2兆円		
2005年度		411万人	6.4兆円		
2006年度	第三期	435万人	6.4兆円	4,090円 (全国平均)	平成20年改正（平成21年5月施行） ○介護サービス事業者の法令遵守 ○介護従事者の人材確保・処遇改善 ○医療との連携や認知症ケアの充実 ○効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証
2007年度		441万人	6.7兆円		
2008年度		455万人	6.9兆円		
2009年度	第四期	469万人	7.4兆円	4,160円 (全国平均)	平成23年改正（平成24年4月施行） ○地域包括ケアシステムの基盤強化 ○介護人材の確保とサービスの質の向上 ○医療と介護の役割分担・連携強化 ○認知症にふさわしいサービスの提供
2010年度		487万人	7.8兆円		
2011年度		508万人	8.2兆円		
2012年度	第五期	533万人	8.9兆円	4,972円 (全国平均)	平成26年改正（平成27年4月施行） ○地域包括ケアシステムの構築化 ○利用者負担の公平化 ○中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化 ○サービス評価の適正化と効果的提供 ○介護人材確保対策の推進
2013年度		564万人	9.4兆円		
2014年度		586万人	?		



ショートステイ 昼食・おやつ作り

ショートステイでは季節に合ったイベントや、毎月昼食のメイン料理とおやつ作りを行っています。ご利用者様にコツを教えていただいたり、楽しく一緒に作っています。

3月にはカップちらし寿司と桜餅作り、ベーカリー喫茶を行いました。ベーカリー喫茶では、焼き立てパンをお好きな飲み物と一緒に召し上がっていただきました。フロアにパンのいい匂いがしていました。来月はリクエストにお応えして「味噌カツ」などのフライと春の和菓子「うぐいす餅」作りを行います。これからもご利用者様に喜んで頂ける様に、季節を感じ目にも美味しい料理作りを企画していきます。

無花果通り: 中根千勢子

巻き寿司



カップちらし寿司



箱寿司



ベーカリー喫茶



桜餅作り



白寿のお祝い



特養人参通りにて、99歳を迎えるご入居者様の「白寿のお祝い」を行いました。事前にご家族様にお声をかけさせて頂き、当日には人参通りのご入居者様、そしてたくさんのご家族様にご参加して下さいました。コーヒーやお菓子を食しながら色々とお話をしたり、ご家族様より花束を、そしてひ孫様より歌のプレゼントも頂き「こんなに沢山の方が集まってくれて、ありがとうございます」と、ご本人様にも喜んで頂けました。最後にご家族様全員と記念撮影をし、とても穏やかで素敵な時間を送る事ができ、印象に残る一日となりました。

介護主任: 加藤靖崇

～慈恵福祉保育専門学校 見学会～

2月17日(火)慈恵福祉保育専門学校より40名の学生が来訪しました。高齢者施設での「ターミナルケア(看取りケア)」について現場の意見を聞く目的の研修です。

施設見学の際、1階にある「円庵」を紹介し、ご入居者様がお亡くなりになった時はこちらで最期をご家族様と過ごされる事、そしてお見送りの際は施設の正面玄関から職員と共にお見送りさせて頂く事を説明しました。

その後、当法人の理事長である堀尾医師が講話をしました。その中で、「人生は人それぞれ違うリュックサックを背負っているのと同じ。私達はそのリュックサックの中身を想像しお世話をする。そのリュックサックの中身はその人の経験や思い出が詰まっている。それは大切にしなければならぬし、それを含めて私達はお世話をしたい。」という話が印象的でした。

そして当施設の職員で同専門学校卒業生より、ターミナルケアの実例を紹介させて頂きました。ターミナルケアとは「亡くなっていくケア」ではなく「最後まで生きていくケア」という介護の在り方に気付かされた事や初めてターミナルケアに携わったときに感じたことや思いを伝えることができました。

後日、慈恵福祉保育専門学校の学生より小論文として、「老いと死という今まであまり考えてこなかった話を聞く事ができ、感じた事は経験として忘れない様にしていきたい。」等の意見を頂きました。

私達職員もこれからの関わりを一つひとつ大切に、日々成長できる様、努めて参ります。

介護主任 加藤靖崇



喫茶【お粗末】

川口結いの家3階パブリックスペースがリニューアルして喫茶&駄菓子屋「お粗末」がオープンしました。

喫茶マスターは事務長、駄菓子屋店番は施設長です(写真掲載)。ともに還暦を過ぎた2人ですが体力の続く限りご入居者様の笑顔のために営業したいと思えます。

コーヒー豆を挽き、ほのかな香りと共に本格的なコーヒーを一杯20円(おつまみ付き)で提供しています。懐かしいレコードを聴きながらレトロな雰囲気の中、レトロな2人が相手をさせていただいています。不定休ならぬ不定営業ですがオープンしたら一度のぞいてください。お待ちしております。



一杯20円です。

たくさんの人参を頂きました!!

大浜小学校3年生の子供たちが、手作りの碧南美人を届けてくれました。デイサービスはなれでは、毎日さまざまな料理に人参を使用し、おいしくいただきました♪

子供たちが大切に育ててくれた人参に「甘くておいしいね!」「子供たち上手に作ったね~!」と、利用者様も大変喜ばれていました。たくさんの人参を、ありがとうございました。

今後も、季節に合った旬の食材や、地元で採れた野菜などを使って、おいしい食事を提供していきたいと思えます。



管理栄養士:杉江 美有

春はいいもんだ!!

春という気候が目の前に立っている。もう春がやってきたのである。冬の間は一日も早く春がやってくるようにと思っていたのだ。

もう春ですよ。春の日差しは明るい。気分はやさしくなるようだ。それほど春の気分は楽しいのだ。「面白くない」そんなことないよ。大きな声を出してごらん。ほら明るい表情になるじゃん。春はそういう季節なのだ。

さて、その楽しい春がやってきたと言うが、その春の日はどう生きるか、それが問題なのだ。

そんなに深刻にならなくてもよい。

春は春だよ。

それでよいではないか!!

著者略歴

坂田佳代:昭和6年1月生まれ

県立碧南高校卒業と同時に名古屋演劇集団の研修生となる。3年間の研修生訓練について劇団員となる。28歳まで続けたが父の死によって断念した。働くことになり碧南に完成した「ローカル誌・中部新報社」に入社。新報一直線であった。

著書に「坂田佳代・おんなひとり地方新聞づくり三十年 社内独語」砂子屋書房がある。

在職中に碧南市より功労賞を受賞する。

現在グループホーム川口結いの家に入居している。

ボランティアさんの活動報告

平成27年1月~3月

- おばちゃま劇団様(うたと劇)
- 加藤訓江様(押し花)
- 琴衣会様(大正琴演奏)
- 鯉朝会様(日本舞踊)
- 榊原純子様(体操クラブ)
- さくら琴舞会様(詩吟舞踊・大正琴・フラダンス)
- 鈴の会様(移動売店お手伝い)
- タカ&オカ様(オカリナ・ハーモニカ演奏)
- 敏加会様(民謡演奏)
- ヒロミフラスタジオ様(フラダンス)
- 碧南川崎会様(民謡演奏)
- 碧南傾聴の会様(傾聴)
- ひばり会様(演歌舞踊)
- マウナケア様(フラダンス)
- 三葉会様(バンド演奏・マジック)

※五十音順

ボランティア担当:鈴木真穂